

## 2022年度 つむぎ 武蔵野ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。  
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について	
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するに当たり安全な環境であるか。	4.4	より安全かつ楽しめる環境を提供できるよう努めてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.6	ルーム全体として支援の質を向上できるよう学びを深めてまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	5.0	継続して適切に休憩を取っていただけるよう努めてまいります。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		つむぎの他ルームと連携を取っていきながら、専門性を深めていけるよう努めてまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.8	今後PDCAサイクルを意識し、話し合いが出来る環境を用意していきます。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.6	ご意見やご意向を伺った際には、業務改善に繋がられるよう話し合いの場を設けていきます。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	3.4	今回初めて自己評価を行ったため、事業所内掲示やホームページに掲載していることを周知徹底してまいります。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.6	外部評価はまだ受けていませんが、内部監査を年に2回実施しており、法人のガイドラインに則った正しい運営を心掛けております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.8	継続して研修を受けやすい環境を用意し、全員で質向上を目指してまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		今後、業務改善課題が出てきたときには、全員で話し合いをし働きやすい環境を全員で作ってまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4.2	標準化されたツールにおいても、課題を話し合い、声を上げよりよいアセスメントツールを作れるよう努めてまいります。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.4	個別支援計画について話し合いをし、全員で利用者について検討をしていき、よりよい個別支援計画が全員で作れるよう努めてまいります。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.0	支援目標を常に意識し、プログラムを提供できるよう努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.8	主体性を大切に、何をしたいのかを考えプログラムを提供できるよう努めてまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.6	余裕を持って事前打ち合わせをして役割分担が出来るよう努めてまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.6	振り返りをしていく中で、気づきを共有し、全員でよりよい支援になるよう努めてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.8	記録からの検証・改善の話し合いを定期的に行っていただけるよう努めてまいります。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	3.6	支援計画についての学びを深め、子どもの成長に合わせて適宜更新ができるよう努めてまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.8	児発・放デイともにプログラムの固定化ではなく、様々な経験を提供できるよう全員で話し合いをしてまいります。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		専門的な支援にこだわらず、子どもにとって経験を通して成長を促していただけるよう努めてまいります。また研修会などに積極的に参加できる環境を用意しスタッフの学びを深めていけるよう努めてまいります。
	保護者との関係連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.8
Q23		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.8	今後他園との連携を深め、お子さまにとって過ごしやすい環境を提供できるよう努めてまいります。
Q24		児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	3.8	今後児童発達支援事業所と連携を取り、お子さまにとって過ごしやすい環境を提供できるよう努めてまいります。
Q25		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.8	まだ該当業務がないが、今後移行する際にはお子さまについての引継ぎがスムーズにできるよう努めてまいります。

保護者と関係機関について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.0	今後センター主催の事業所連絡会や研修会に参加し、連携を取っていけるよう努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.8	今後会議等に参加し地域連携に繋がれるよう努めてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.4	ともに活動をする武蔵野どろんこ保育園との交流だけでなく、地域の方との交流も出来るよう努めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.2	今後地域の子育て世代向けに研修会などを実施し、地域の方につむぎを知ってもらえるよう努めてまいります。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.8	フィードバック時に家でも出来ること、日常生活の中で出来ることなど、保護者様の話を傾聴し、適切な支援を伝えられるよう努めてまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		今後、関係機関、保護者様、地域との連携を取っていけるよう話し合いをしてまいります。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.4	全員が契約内容を把握し、説明が出来るよう努めてまいります。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.8	スタッフの経験を増やしていき、スタッフ間の連携を取り、適切な助言が出来るよう努めてまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.0	今後、集まれる機会を作り、保護者間での話し合いができるよう努めてまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	3.8	まだ苦情をいただいたことはないですが、あった場合には適切に対応できるよう努めてまいります。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	3.4	ブログを通して情報発信が出来るよう努めてまいります。また室内掲示物を通して情報発信も出来るよう努めてまいります。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉かけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	3.6	保護者様とコミュニケーションをしっかりと取り、意思疎通が取れるよう努めてまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.6	今後も個人情報管理については、十分注意し事故のないよう努めてまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.8	お子さまの情報、業務連携を適切に行えるよう努めてまいります。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		今後もスタッフ間連携を取り、適切に対応が出来るよう努めてまいります。
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.4
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	5.0	毎月の避難訓練を通して、万が一に備えた動きが出来るよう努めてまいります。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.4	虐待防止研修を年1回行い、適切に対応できるよう努めてまいります。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.8	毎月つむぎ全体、ルーム内でのヒヤリハット、インシデント、事故をまとめ共有し、自分事と捉えて業務に当たれるよう努めてまいります。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		スタッフ連携を密に取り、非常時にも全員で対応が出来るよう努めてまいります。
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	3.2	毎日お子さまが元気に笑顔で通ってもらえるよう共に楽しみに努めてまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	3.8	スタッフ間での振り返りを通して、よりお子さまの発達状態が把握できるよう努めてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		開所して半年がたち、良い点、改善点と多く出てきていると思います。連携を取り、お子さまだけでなく、保護者様、スタッフ共々過ごしやすい環境が提供できるよう努めてまいります。

アンケート実施期間：2022年8月12日～9月5日

全回答数：5

つむぎ 武蔵野ルーム  
施設長 御殿谷 雄二